

三井金属鉱業株式会社（5706）

2018年3月期

第2四半期決算説明会

2017年 11月 14日

# ■ 17年業績予想

	2015年 実績	2016年 実績	2017年 業績予想 (8/9)	2017年 業績予想 (11/10)
売上	4,506億円	4,363億円	4,780億円	5,070億円
営業利益	111億円	385億円	325億円	430億円
経常利益	△113億円	310億円	300億円	390億円
親会社株主に 帰属する当期純利益	△209億円	187億円	200億円	240億円
フリーキャッシュフロー	240億円	△141億円	40億円	40億円
設備投資	284億円	377億円	440億円	470億円
自己資本比率	35.0%	33.5%	35.1%	35.8%
NetDEレシオ	1.03	1.10	1.04	1.01

# ■ 17年度上期決算

マテリアルの知恵を活かす

## ● 17年度上期売上・経常利益 対前回見込 (8/9)

(単位：億円)

	17年度上期		17年度上期 見込(8/9)		差異	
	売上	経常利益	売上	経常利益	売上	経常利益
機能材料	806	140	870	133	△64	7
金属	822	0	780	△18	42	18
自動車部品	492	23	490	25	2	△2
関連	599	28	580	19	19	9
その他調整	△295	△15	△300	△9	5	△6
合計	2,424	176	2,420	150	4	26

## ● 17年度上期売上・経常利益 対前年同期

(単位：億円)

	17年度上期		16年度上期		差異	
	売上	経常利益	売上	経常利益	売上	経常利益
機能材料	806	140	706	60	100	80
金属	822	0	592	7	230	△7
自動車部品	492	23	546	27	△54	△4
関連	599	28	492	14	107	14
その他調整	△295	△15	△331	△19	36	4
合計	2,424	176	2,005	89	419	87

# ■ 17年度通期見込

## ● 17年度通期見込 対前回予想 (8/9)

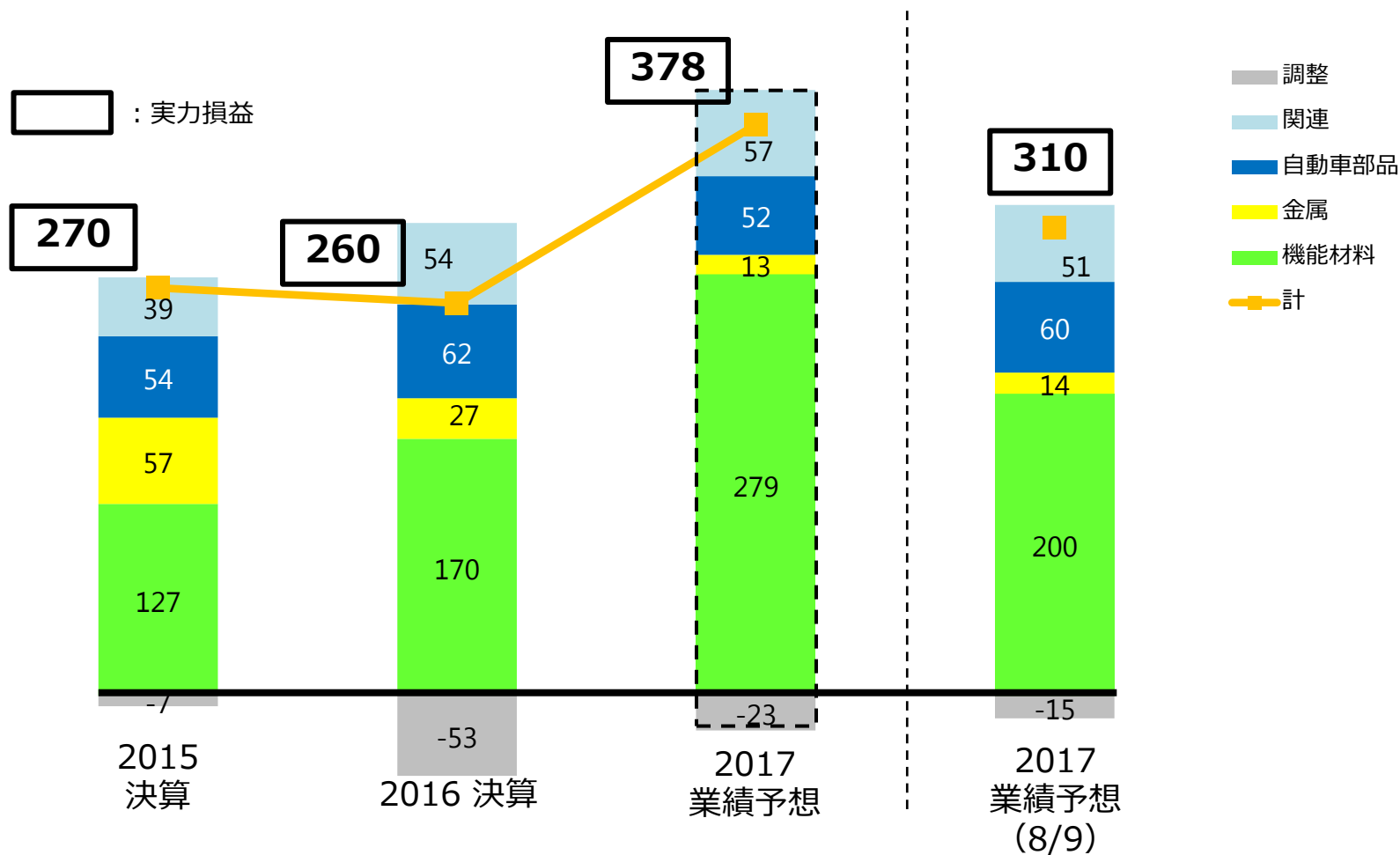
(単位：億円)

	17年度通期見込		17年度通期 (8/9)		差異	
	売上	経常利益	売上	経常利益	売上	経常利益
機能材料	1,650	273	1,500	200	150	73
金属	1,710	28	1,560	4	150	24
自動車部品	1,000	52	1,010	60	△10	△8
関連	1,280	60	1,270	51	10	9
その他調整	△570	△23	△560	△15	△10	△8
合計	5,070	390	4,780	300	290	90

## ● 実力損益推移

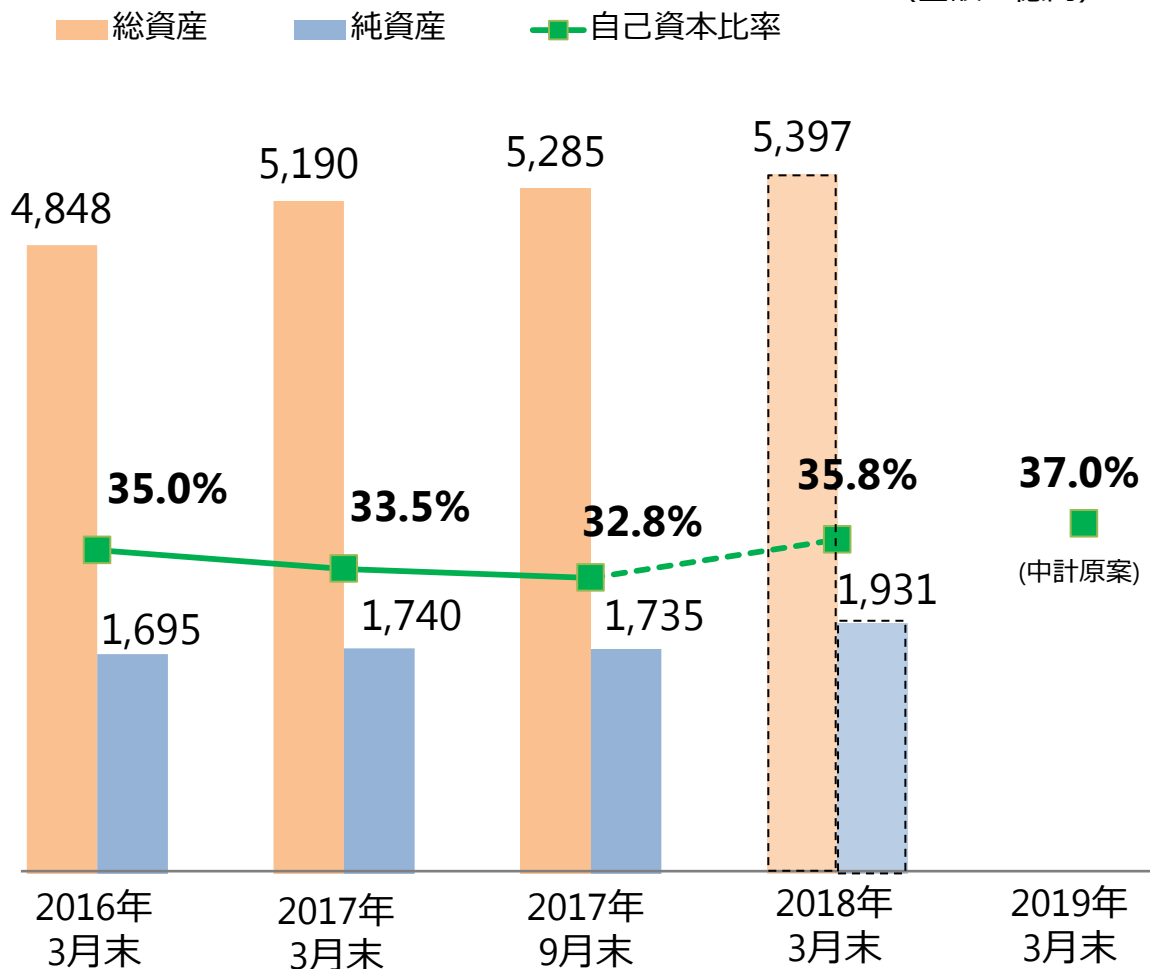
(在庫要因、カセロネス減損、退職給付債務除く)

(単位：億円)



## ● 自己資本比率推移

(金額：億円)



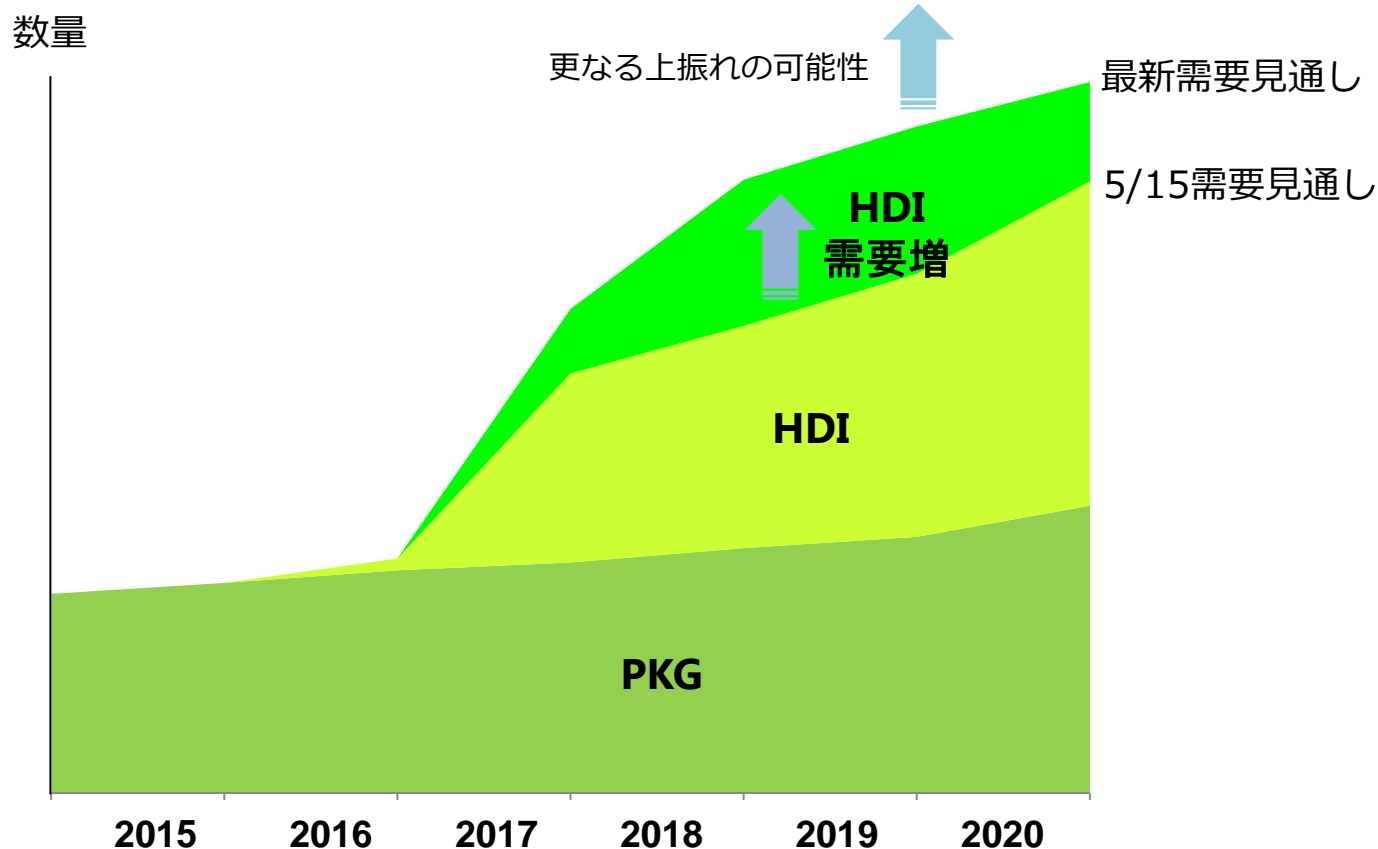
事業部	今年度の取組み	備考
銅箔	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>MicroThin™ の第二弾、第三弾増産起業決定</b></li> <li>・ フレキシブル基板用電解銅箔増強起業</li> <li>・ 高周波基板用電解銅箔増強起業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 11/14 プレスリリース</li> <li>・ 7/13 プレスリリース</li> <li>・ 7/20 プレスリリース</li> </ul>
触媒	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 四輪向け触媒増強および増販</li> <li>・ 二輪向け触媒増販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 16中計通り進捗</li> <li>・ シェア約55%</li> </ul>
薄膜材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ITOターゲット増販</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 16中計を上回る水準</li> </ul>
機能粉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 酸化セリウム系研磨材（MIREK™）増産起業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/14 プレスリリース</li> </ul>
研究開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>全固体電池用材料の開発順調に進捗</b></li> </ul>	
成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SBIインベストメント(株)とプライベートファンドを設立</li> <li>・ プライベートファンドの第一号案件成立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 9/1 プレスリリース</li> <li>・ 11/7 プレスリリース</li> </ul>

# ■銅箔事業部 - HDI向けMicroThin™新規用途拡販（1）

マテリアルの知恵を活かす

5/15時点と比べてハイエンド需要の増加を織り込む。  
ミドルエンドの採用増で更なる上振れの可能性がある。

## MicroThin™の需要予測



- 電池容量拡大のための基板サイズ縮小、微細配線化（L/S $\leq$ 30/30 $\mu$ m）  
⇒ MicroThin™採用のドライバーに

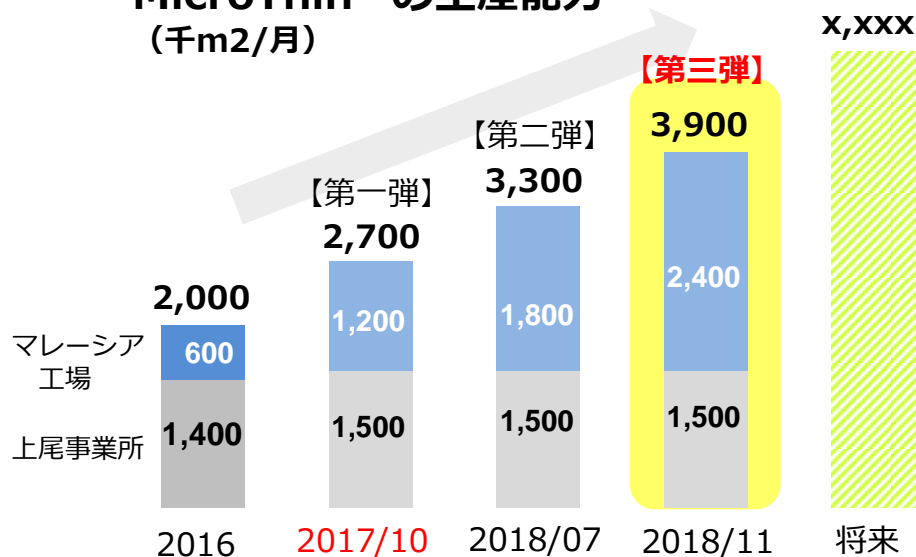


# ■銅箔事業部 - HDI向けMicroThin™新規用途拡販 (2)

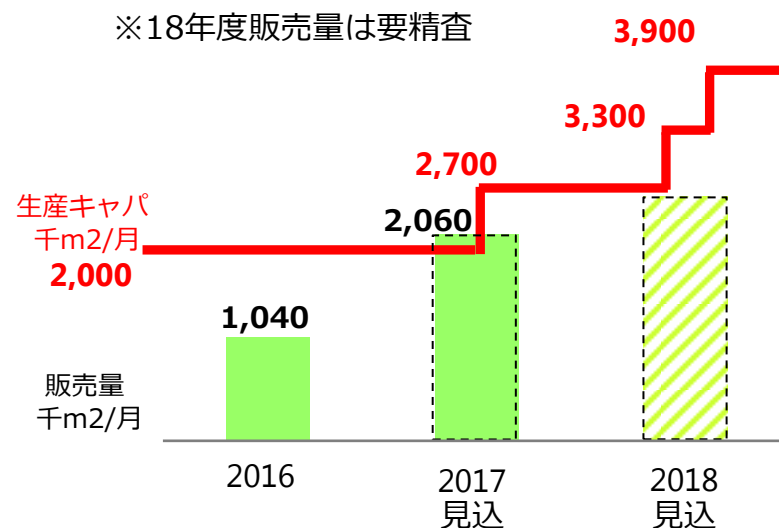
マテリアルの知恵を活かす

HDI向けの採用拡大により、マレーシア工場に第三弾の追加増産起業決定。

**MicroThin™の生産能力**  
(千m2/月)



**(参考)MicroThin™生産キャパ・販売量見込**



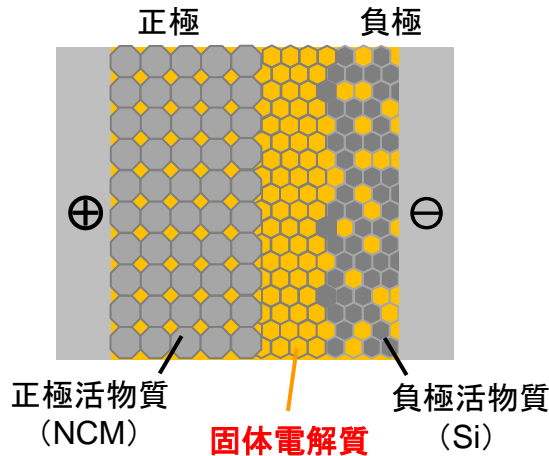
- 【第一弾】 トータル2,700千m2/月。量産開始を2018年1月から2017年10月に前倒し
- 【第二弾】 トータル3,300千m2/月。量産開始を2018年7月予定
- 【第三弾】 トータル3,900千m2/月。量産開始は2018年11月予定

# ■ 研究開発 - 全固体電池用材料（固体電解質、正負極活物質）

マテリアルの知恵を活かす

## 全固体電池について・・・車載向け次世代リチウムイオン二次電池

全固体電池構造のイメージ図

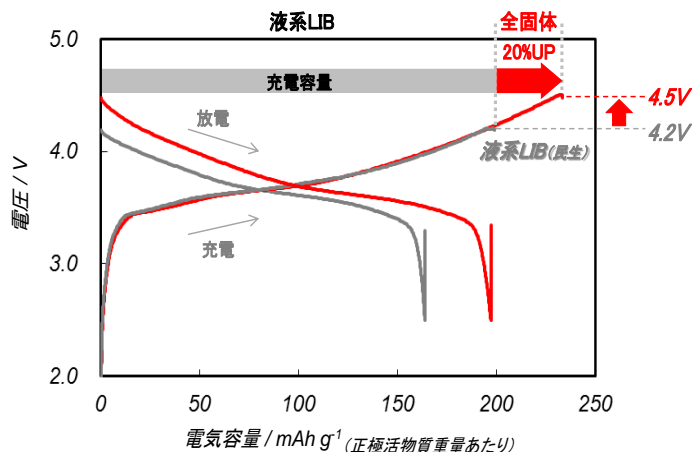


- 固体電解質は難燃性のため、液体電解質より安全
- 高エネルギー密度化、急速充電性で有利

当社開発の高イオン伝導性固体電解質に最適な正極NCMと負極Siの活物質開発も加速中

## 開発状況・・・高エネルギー密度化の実現に向けて

正極NCMを用いた全固体電池の充放電曲線

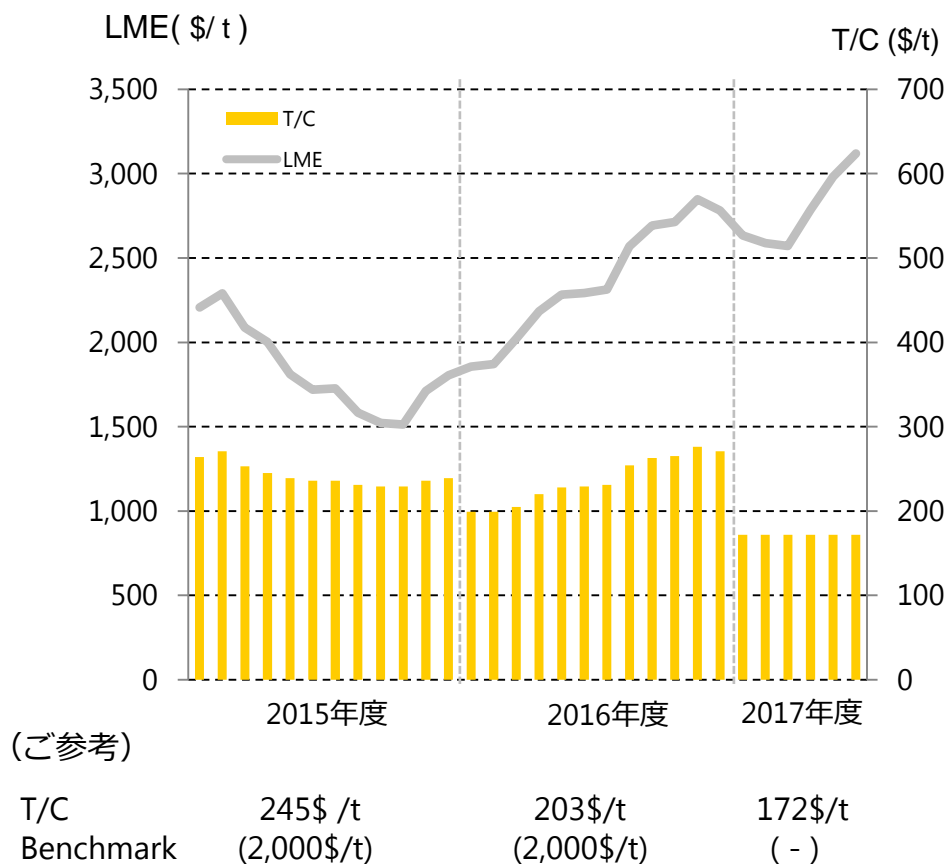


- 当社固体電解質と正極NCMによる電池を試作

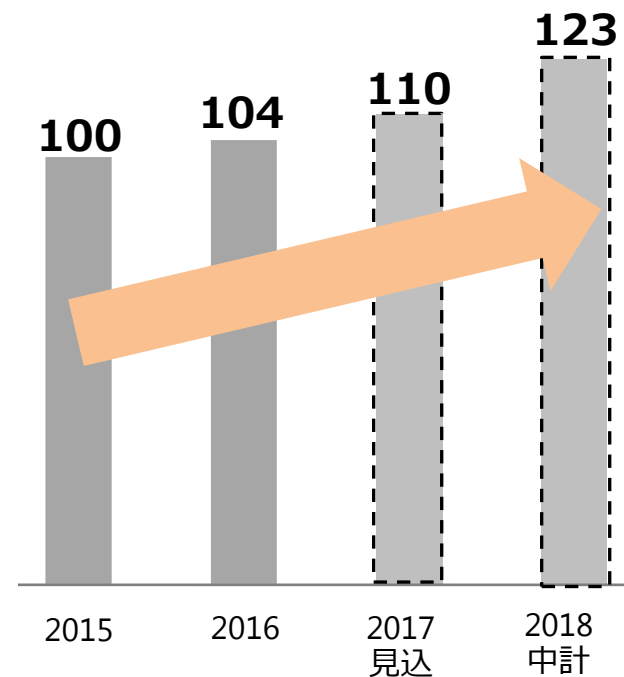
高電圧充電による全固体電池の高エネルギー密度化を実証

亜鉛価格は上昇するも、製錬側のマージンであるT/Cは悪化。  
リサイクル原料処理量は徐々に増加。

## ● 亜鉛価格とT/Cの推移



## ● リサイクル原料処理量の拡大 (2015年度を100とした場合)

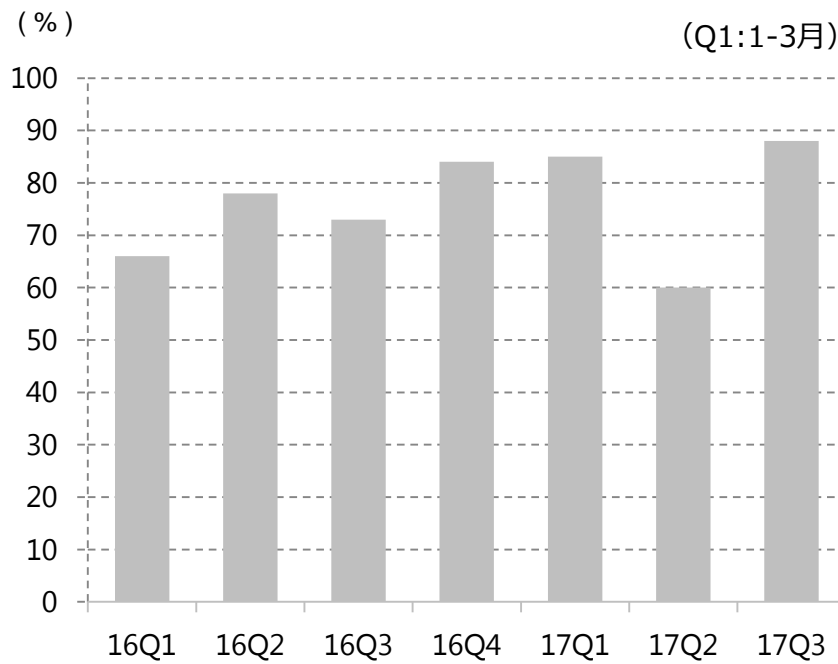


# ■ 金属セグメント - 銅統括事業部 (カセロネス銅鉱山)

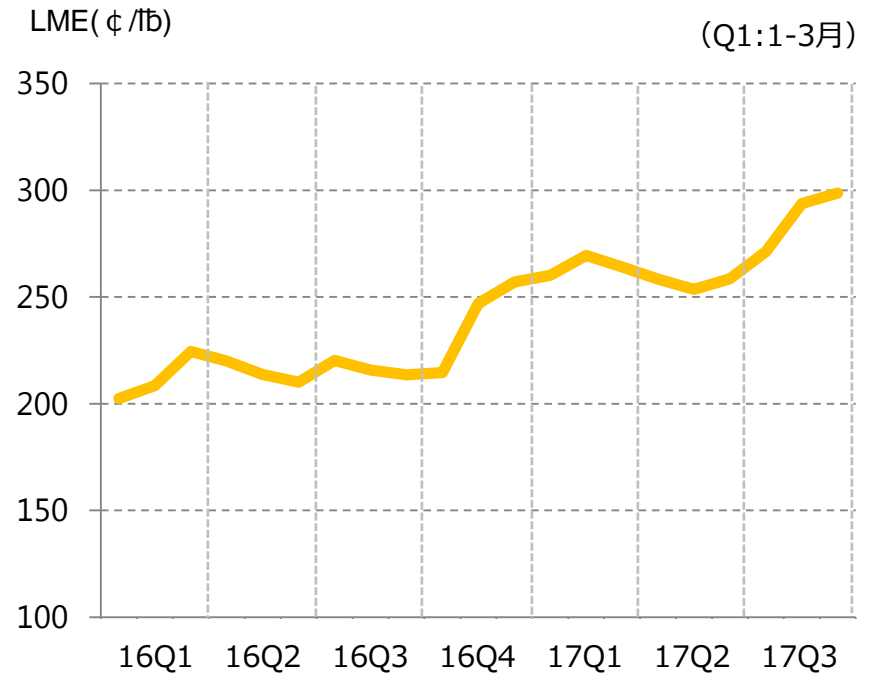
マテリアルの知恵を活かす

操業は改善しているが、5月の暴風と大雪による操業停止で17Q2稼働率は低下。  
7月以降の粗鉱処理ベースの操業は回復。

## ● 粗鉱処理量稼働率推移



## ● 銅価格推移 (2016年1月-2017年9月)



本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、様々な既存のリスク、未知のリスク、不確定要因等を伴っているため、実際の事業環境・事業活動は、これらによる影響を受けることとなります。したがって、将来の見通しに関する記述内容またはそれによって示唆されている内容が、実際に生じる結果と大きく異なる可能性もあります。

本資料は、将来の見通しに関する記述の中で使用されている目標、想定、期待、予測、計画、評価等の情報が正確である、または将来その通りになるということを、当社が保証したものではありません。

将来の見通しに影響を与うる潜在的リスクや不確定要因については、当社の有価証券報告書またはホームページの「事業等のリスク」の項目に記載されておりますが、潜在的リスクや不確定要因がその項目ですべて網羅されている訳ではありませんので、その旨ご留意ください。

本資料は、株主・投資家等の皆様に、当社の経営方針・経営情報等をよりよくご理解いただくことを目的として作成しており、当社の株式の購入・売却など、株式等の投資を勧誘することを目的としたものではありません。したがって、皆様が実際に投資なさる際には、本情報に全面的に依拠して判断を下すのではなく、あくまでご自身で投資の可否をご判断くださいますよう、お願いいたします。